

[本校の概要]

本校は普通科高校として昭和58年に開校し、進学に実績を上げてきました。JR 河瀬駅から徒歩7分という交通の便の良い場所にあります。また、平成15年に河瀬中学校を併設しました。本年度、高校40周年を迎えます。

本校の校訓である『志成』の言葉どおり、生徒が希望する進路を実現できる確かな学力とたくましさを育てる『魅力と活力ある進学校』として、未来社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

[目指す生徒像]

視野を地域から世界へ広げ、何事に対しても意欲を持つ取り組める心豊かな生徒



滋賀県立河瀬高等学校

Shiga Prefectural Kawase Senior High School

2023年度 学校案内



学習

日々の学習の中で『学ぶ力』を身につけていく。

充実した学習指導

本校生のほとんどが進学を希望しています。その希望がかなえられるように基礎・基本を大切にしながら、発展的な内容の学習に力を入れています。

- ▶週32時間授業により授業時間の確保
- ▶少人数や習熟度別の授業編成を実施して丁寧に指導
- ▶課題考查で自然に学習習慣と基礎力が定着
- ▶進学補習（平日放課後3年生対象）で発展的学習
- ▶落ち着いた雰囲気で一日をスタートできる朝読書
- ▶公開授業や授業評価による教員の授業力向上



教育課程

- ◇1年生は芸術以外全員が同じ科目を学びます。
- ◇2・3年生はL系(文系)コース、S系(理系)コースのどちらかを選択します。

1年	2年		3年			
	全員	文系	理系	文系1	文系2	理系
1 現代の国語	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語	
2 言語文化		文学国語	古典探究	文学国語	文学国語	古典探究
3						
4						
5 古典探究		地理総合	古典探究	古典探究	古典探究	地理探究
6 公共		地理総合	歴史総合	日本史探究 or 世界史探究 or 地理探究	日本史探究 or 世界史探究 or 地理探究	
7 数学Ⅰ						数学Ⅲ
8 数学Ⅱ		歴史総合	数学Ⅱ(Ⅲ)	日演 or 世演 or 地理演	日演 or 世演 or 地理演	数学C
9						
10						
11						
12 数学A		数学B				数学演習S
13						
14 化学基礎		数学C	政治経済	政治経済		化学
15						
16 生物基礎		物理基礎	数学演習 L	総合数学		化学演習
17						
18 体育		数学C	国語演習			
19						
20 保健		物理 or 生物	数学C			
21 芸術Ⅰ		地学基礎	化学基礎演習 or 地学基礎演習	英語演習		物理 or 生物
22						
23 英語		化学				
24 コミュニケーション	英語	英語				
25 ケーションⅠ	コミュニケーション	英語				
26						
27						
28	論理・表現Ⅰ	英語	英語	英語	英語	英語
29		コミュニケーション	コミュニケーション	コミュニケーション	コミュニケーション	コミュニケーション
30						
31 LHR	LHR	LHR	LHR	LHR	LHR	LHR
32 総合的な探究	総合的な探究	総合的な探究	総合的な探究	LHR	LHR	LHR

高い目標に向かって



京都大学
工学部 電気電子工学科
野田 大河
(県立河瀬中学校卒)

私が京都大学を志望するようになったのは、高校一年生の時に担任の先生に勧めていただいたのがきっかけでした。当時は自分には高すぎる目標だと考えていましたが、これからの勉強次第で十分合格できると背中を押していただいたことで一年間ひとつの目標に向かって努力を続けることができました。思ったように成績が伸びなくて苦しかったことも何度もありました。が、いま努力を続けなければこれまでの努力が無駄になると考へ、ひたすら勉強に打ち込みました。冬休みがあけて自主登校期間になったあとは積極的に学校に行き、先生方から添削指導などのお手伝いでたくさんサポートしていただきました。いま思えば、これらの助けのおかげで私は最高の形で本番に臨むことができたのだと思います。河瀬高校は一意専心に努力する生徒を全力でサポートしてもらえる環境が整っています。一卒業生としてこれからのみなさんの進路実現にむけての努力を応援しています。



名古屋市立大学
人文社会学部 心理教育学科
佐々木 葵
(県立河瀬中学校卒)

私はいつも目標を立てることを意識していました。1、2年の頃は受験といっても漠然としていたので、定期考査や小テストで高得点を取ることを目指しました。目標に向けて勉強していくと毎日の勉強が習慣になりました。3年生になると考査に加え模試で力が發揮できるように逆算して計画を立てました。試行錯誤しつつ目標に向かって取り組んだ日々が私の大きな力となりました。志望校合格というと大きな目標ですが、達成には日々の小さな積み重ねが一番大切だと感じました。

私は主に学校で勉強していました。土日も自習室が開放され長期休暇には補習も開かれました。その中で友達や先生方の存在が大きかったです。共に目標に向かう友達の姿に刺激を受けました。先生方は個別指導や面談を通して私の進路決定を後押ししてくださいました。受験生活での学びをこれからに活かしていきたいと思います。

ICT 機器を導入した先進的な学習

本校では、ICT機器等を活用した教育を推進するため、H29年度にすべての普通教室と一部の特別教室に電子黒板機能付きプロジェクターとスクリーン、書画カメラを設置しました。これにより、視覚的な教材提示が行えるようになりました。動画や資料を見やすく提示することで、興味・関心を高めたり、フラッシュカードやワークシートをスクリーンに映し出して、学習の支援に役立てたりしています。また、タブレット端末などを活用して、探究型の学習活動やプレゼンテーションを行ったり、意見や考えを交流する活動にも取り組んだりしています。



受験に向けて



河瀬高等学校3年生
寄木 颯大
(近江八幡市立安土中学校卒)

私は受験に向けて、日々勉強しています。その中で私が大切にしていることは、復習すること勉強を楽しむことです。学力を定着させるには何よりも復習が重要だと考えます。そのため、間違えたり分からなかつたりした問題や、基本的な問題は何度も解き直すようにしています。また、しぶしぶ勉強していく中、ただ疲れるだけで自分の力にはなりません。そこで、これから学習する単元や分野に興味を持ち、それらを好きになつたり進んで学びたい気持ちになつたりすることで、勉強を楽しむことができます。そしてそれは、自分の力となる質の良い勉強につながります。河瀬高校には自習スペースが多くあり、テスト前ではなく普段から集中して勉強ができます。分からない部分は、すぐに先生に質問することもできます。この充実した環境によって自分の勉強方法を確立できたと思います。これからも志望校の合格に向けて頑張りたいです。

総合的な探究の時間

総合的な探究の時間は、自らの興味・関心が、学問やその先の仕事・キャリアに繋がっていることや、個人の取組みが、地域問題や世界の課題に繋がっていることを学び、自らの人生をどう生きるかを考える時間です。

高校1年生では、図書館とICTを使い、情報収集の仕方やその比較、整理の仕方、まとめ方などを学びます。

図書館の本の分類を学ぶための整理ゲーム、お試し読書、アバターを作つての本の紹介ポスター作成、本の筆者への礼状作成などに取り組みます。

高校2年生では、SDGsの観点を強く押し出し、チームを組んでより深い探究に挑みます。学びの舵取りは生徒であり、教員はファシリテーターや伴走者といった立場で生徒の探究に関わります。

最終的には成果を報告し、作成した報告書は本校図書館の蔵書となります。

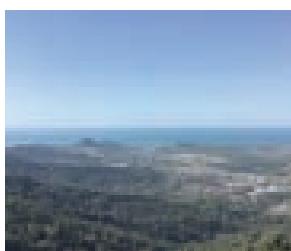


国際理解教育

本校では、次世代の国際社会で活躍できるグローバル人材育成を目指し、オーストラリアへの海外短期派遣研修を実施しています。現地の高校との国際交流や異文化理解体験、語学・文化研修などを通じて、国際感覚を磨き、視野を広げる取り組みを行っています。

また、ミシガン州立大学連合日本センターの留学生をインターとして受け入れ、留学生がどのように日本語を学んでいるのか体験したり、日本語や日本の若者の文化を紹介したりして、国際交流の機会としています。

※2020～2022年は新型コロナウィルス対策のため海外派遣は実施していません。



海外派遣に参加して



河瀬高等学校3年生
安積 蒼馬
(県立河瀬中学校卒)

私は中学三年生のときに海外派遣研修に参加しました。一番印象に残っているのはアサートン高校でのパーティとの授業です。パーティの受けている授業と一緒に参加し、すべて英語で行われる数学や理科、社会はとても新鮮でした。会話するときも、自分のわからない単語や聞き取れなかつた言葉を、丁寧に聞いてくれたり教えてくれたりしたことにも心に残っています。

また、私はこの研修で課題点も見つけることができました。例えば、話すときに声が小さくなってしまったり、会話がワンパターンになってしまったりしたことです。グローバル化が進む中、英語力はさらに重要なものになってきています。この経験を生かして将来に向けてより一層学習を深めていきたいです。

講演会

視野を広げ、国際社会の諸問題についての理解を深めるために、講演会を行っています。

2019年度講演会 外務省「高校講座」

2019年9月11日(水)の6・7時間目に、外務省の職員の方による「高校講座」を催しました。

国連企画調査課の寺田佳世様をお招きし、「グローバルに活躍する人を目指す」というタイトルで講演をして頂きました。

2020年度講演会 「EUが学校にやってくる」－欧州連合(EU) 外交官による出前講座－

2020年11月10日(火)、高校1・2年生を対象に、スウェーデン大使館公使参事官のレーナ・フォン・シドーさんをお迎えして講演会を行いました。この事業は、日本の高校生にEUに関心を持ってもらうことを目的としてEUの駐日代表部が主催したものです。

2021年度講演会「国際協力機構(JICA) 青年海外協力隊経験者による講演会」

2021年10月27日(水)、高校1年生を対象に、JICAの細川ひかりさんを講師に迎え、講演会が行われました。海外修学旅行に向けての事前学習として異文化理解を深めるため、長年開発途上国で現地の方々と生活を共にし、その国の発展のために貢献してきた細川さんの貴重なお話を聞きしました。



イングリッシュセミナー

2021年度は、海外短期派遣研修の代替プランとして、彦根にあるミシガン州立大学連合日本センターでイングリッシュセミナーを実施しました。英語を通してコミュニケーションを図り、お互いの理解を深めるとともに、異文化理解に努めながら生きた英語力を身につけることを目的としています。



English Seminar at JCMUに参加して



河瀬高等学校3年生
本田 来夢
(県立河瀬中学校卒)

このセミナーは、私が自分の英語力の足りなさを実感し、英語学習への意欲を向上させるきっかけになりました。セミナーでは英語で物事を説明したり、自分の意見を言うなど能動的に英語を使う場面が多かったです。その中で、自分の伝えたいことがうまく英語にできなかつたことが多々あり、悔しかつたのと同時に「もっと上手に会話できるようになりたい」と思いました。また、拙い英語の中でもジェスチャーや話し方によってニュアンスを伝えることができ、伝わったときは嬉しかつたし、完璧じゃなくても伝わるという点で英語を話すことに対する不安がなくなり、積極的に英語を使えるようになったと思います。セミナーを通して英語学習へのモチベーションアップだけでなく、英語に対する根本的な意識や考え方にも良い変化が生まれました。参加して本当に良かったです。

修学旅行

本校では従来より、国際理解、異文化理解を目的として、海外への修学旅行を実施しています。2023年度入学生は、グアムへの訪問を予定しています。

グアムを訪問することにより、次の5つの観点から学習を深めます。

① SDGs

グアムにある自然遺産をSDGsの観点から知識を深め、問題意識を持つことを学ぶ。

② 平和学習

島の各地に点在する太平洋戦争の戦禍の跡をめぐり、戦争の現実に触れる。

③ 現地交流

現地の方々との交流を行い、異文化体験を深めコミュニケーション力の大切さを学ぶ。

④ 伝統文化・体験

気候、風土にしなやかに対応した、チャロモ文化の生活を体験する。

⑤ 海洋体験学習

透明度が抜群なグアムの海で、シュノーケリングやダイビングなどで五感を使い自然と触れ合う。



上の写真是訪問予定地等のイメージ写真です。
なお、2019年度は香港への修学旅行を予定していましたが、情勢悪化から沖縄に変更。2020・2021年度は新型コロナウィルス対策のため修学旅行を中止しています。

福島研修

本校では、福島の復興の歩みや、復興に向けて奮闘を続ける人々の生の声を感じ、福島の現状について理解を深めるとともに、震災・原発事故の教訓を踏まえ、これからの中日本・地域、ひいては自分たちの将来を考えることを目的とした、「福島学習」を実施しました。

2020年度は、希望生徒が2泊3日で福島に赴き、フィールドワークなどを通して、日常の学校生活の中では学ぶことのできない経験をし、知識や認識、視野を広げることができました。2021年度は、新型コロナウィルス感染拡大によりオンラインの研修になりましたが、参加者が復興に関わる方々から、福島の現状だけではなく、今後の展望などを知る機会となり、総合的な探究の授業に繋げることができました。



福島オンライン研修



河瀬高等学校3年生
宮本 紗良
(県立河瀬中学校卒)

私は、今年行われた福島オンライン研修に参加しました。研修では医療、エネルギー、農業などあらゆる分野の現地の方々から、貴重なお話を聞くことができました。その中で、復興をゴールにするのではなく、その先の発展に繋げていきたいという言葉がとても印象に残りました。震災や原発事故を経験した地域だからこそ気づきを生かし、たくさんの方が一丸となって活動している姿に感銘を受けました。また、班員との意見交流や現地の方への質疑応答を通して、私達が出来る事について考え、SDGsとも関連づけて学びを深めることができ、福島のことだけでなく私達の生活についても考える良い機会になりました。コロナの影響で現地には行けませんでしたが、内容が濃く、知識を深めることができた研修だったと感じています。

学校行事

中高合同の学園祭。仲間と創る、充実した高校生活。

年間行事（主な学校行事）

4月	始業式、入学式、宿題考查、離任式、除草、校外学習(2、3年)、オリエンテーション(1年)、生徒総会
5月	避難訓練、中間考查、PTA総会、コース選択説明会(1、2年生)
6月	学園祭準備、学園祭(体育祭、文化祭)、春季総体
7月	期末考查、油ぶき、終業式、保護者懇談会、進学補習(～2月)、学力補充講座
9月	避難訓練、生徒会長選挙
10月	中間考查、秋季高校総体、県高校総合文化祭、人権映画鑑賞、除草
11月	ボランティア花植、修学旅行(2年)、教育の日講演会
12月	期末考查、保護者懇談会、終業式、学力補充講座
1月	始業式、宿題考查
2月	「総合的な探究の時間」発表会、学年末考查
3月	卒業式、身体測定、球技大会、終業式

人権 LHR (年4回)、朝読書 (年4回)、個人面談 (年4～6回)
校外模試 (1年3回、2年4回、3年7回)



オリエンテーション

「自学自習」の習慣をつけるため、まず長時間机に向かうところから始めます。また、卒業生の話や講演を聞くことで、これから先の高校生活をどう過ごすかを具体的にイメージし、主体的に学生生活を過ごすきっかけを作ります。



校外学習

生徒の自立と自律を目指し、生徒自身が行き先を決めて、行動計画を立て、実行するという班別自主研修を行います。2021年度は、2年生は名古屋へ、3年生は大阪で研修しました。





学園祭（体育祭・文化祭）

本校の『荒人潔』と呼ばれる学園祭（体育祭・文化祭）は、中高合同で行います。中学1年生から高校3年生までの6学年が一致団結して、学園祭を盛り上げます。



荒人潔



滋賀県立大学
環境科学部 環境建築デザイン学科
古川 元大
(彦根市立中央中学校卒)

私が河瀬高校で1番心に残っていることは荒人潔です。新型コロナウイルスの影響で今までのものとは大きく変わってしまったこともあり、前例がない中での実施となりました。何が正解かもわからない中みんなで意見を出し合い、意見の対立なども乗り越えながらうまくまとめ上げることで、より仲が深まりクラス全体の団結力が高まったと思います。リモートであることになつたり感染対策がとられたりするなかで不便さを感じることもありましたが、その中でもみんなが楽しもうとすることによって、全体としてとても良い雰囲気の学園祭となりました。他にもミニ文化祭、ゲーム大会で生徒が歌ったりなど小イベントも多々あり、学校全体を活気づける活動が定期的にあったのも、河瀬の魅力の一つだと思います。

創造



河瀬高等学校3年生
西村 雅美
(栗東市立栗東西中学校卒)

河瀬高校には、夏の初めに中高合同で行う荒人潔があります。文化祭では、初めは少しぎこちない様子の私たちのクラスでしたが、自分たちで一から企画を考えていく中で次第に打ち解け合い、道具などを作成しながらみんなで笑い合ったり話したりするような楽しい時間となりました。コロナ禍での開催となつた体育祭では、応援することが限られてしましましたが、学年を越えて協力し合いとても盛り上りました。学園祭後には「楽しかった」という声も多く聞こえ、企画した私達はとても達成感があり嬉しく感じました。団編成は中高合同で行われるため、沢山の人と出会う機会になります。コロナ禍で制限はあるものの、みんなで創りあげる学園祭はとても良い思い出になります。みなさんも全力で楽しんで、忘れられない最高の思い出にして下さい。

部活動

日々、仲間とともに心と体を鍛える。部活動で得た力と感動は、一生の宝物。

[運動部] (※は中高合同)

陸上競技※ 卓球 剣道※ 硬式野球 サッカー
バドミントン ソフトテニス ハンドボール
バスケットボール 女子バレーボール



[文化部] (全て中高合同)

吹奏楽 美術 科学 書道 写真 放送 文芸
E.S.S



主な実績(2021年度)

〈剣道部〉

- 滋賀県高体連春季総合体育大会 剣道の部
男子個人3位(近畿大会出場)
女子個人3位
(近畿大会出場、国体滋賀県チームの副将として近畿ブロック大会に出場)

〈陸上競技部〉

- 令和3年度秋季高等学校総合体育大会陸上競技の部 男子800m 1位

〈女子ハンドボール部〉

- 令和3年度滋賀県高等学校秋季総合体育大会 ベスト4
優秀選手 1名

〈女子卓球部〉

- 滋賀県高体連春季総合体育大会
女子学校対抗 ベスト8(近畿大会出場)
女子シングルス 近畿大会出場 1名



〈吹奏楽部〉

- 第57回滋賀県吹奏楽コンクール県大会 銀賞&きらめき賞
- 第50回滋賀県アンサンブルコンテスト 銀賞(サクソフォーン4重奏)
- 第34回中部日本重奏コンテスト本大会 銅賞(金管6重奏)

〈科学部〉

- 第65回学生科学賞県展 高等学校の部
優良賞(3位)化学班 (2021年度日本学生科学賞出品)
- 第41回滋賀県高等学校総合文化祭自然科学部門研究発表会
- 第75回滋賀県児童生徒科学研究発表会 化学研究部門 1位
(2022年度全国高等学校総合文化祭 第46回とうきょう総文 出場へ)



〈写真部〉

- 第42回滋賀県高等学校総合文化祭写真部門写真展
特選(県2位)、入選1位 1名、佳作 5名
(2022年度全国総文祭出場 第46回とうきょう総文・2022年度近畿総文祭出場へ)

〈書道部〉

- 第62回大東文化大学主催 全国書道展 団体「全日本書道連盟賞」「全国書美術振興会賞」1名 「審査員奨励賞」1名
- 読売高校・一般紙上書道展 上期 二席1名 三席1名
- 読売高校・一般紙上書道展 下期 二席1名 三席1名



〈文芸部〉

- 令和3年度滋賀県高校総文 文芸コンクール 短歌部門 第2位 1名

〈E.S.S部〉

- 岐阜女子大学主催 第11回英語キャッシュコンテスト 奨励賞1名
- 第27回フレンドシップカップ レシテーションコンテスト
Experienced 部門 Grand Prize(最優秀賞) 1名

〈放送部〉

- 第68回NHK杯全国高校放送コンテスト滋賀県大会 朗読部門 1位

〈美術部〉

- 第41回近畿高等学校総合文化祭滋賀大会 美術・工芸部門出場2名



部活動での総合的な学び



山形大学
医学部 看護学科
瀬川 美里土
(日野町立日野中学校卒)

私は河瀬高校吹奏楽部のマーチングをみてから、自分もこんなかつこいい演技をしてみたいと思い、河瀬高校に入学してきました。吹奏楽部に入部して一つの舞台を作り上げるために悩んだり、しんどくなることも数えきれないほどありましたが、協力し合って高みを目指して取り組んできた舞台を終えた時の達成感や嬉しさはこの上なく、最後に拍手をいただく瞬間の景色は今後忘ることはないと言い切れます。引退した今、辛い時期があったからこそ、高い達成感を味わえたのだと思っています。

河瀬で総合的にたくさんのことを学び、この部活動を経験できたおかげで受験においても最後まで走りきることができました。後輩の皆さんにもぜひこの河瀬高校で豊かな学校生活を送り、たくさんの経験を積んでいただきたいと思います。

部活動で学んだこと



河瀬高等学校3年生
立田 慎之佑
(県立河瀬中学校卒)

私は、中学3年生の9月から約2年半バスケットボール部に所属していました。この2年半、バスケットボールを通じて様々な経験をし、たくさんの人と関わり、仲間と出会えたことは、自分にとってかけがえのないものです。

私の生活に欠かすことのできないバスケットボールが、コロナ禍によって奪われてしまった期間がありました。この期間で私は学んだことがあります。それは、制約がある中で自分のできることを見つけ、それを地道に続ける事です。コロナによって大会が中止になるなど、自分達の成果を発揮する機会は少なくなってしまいました。しかし、この部活で学んだことは、今後の人生にとって大切なものになると思います。

部活動を通して



京都産業大学
法学部 法政策学科
古橋 明日香
(近江八幡市立安土中学校卒)

私は高校3年間剣道部に所属していました。この3年間を通じて得たものは目標達成のために計画を立てて最後までやり抜く実行力です。

私は県大会優勝を目指して部活動に取り組んでいました。もともと稽古はたくさんする方で一生懸命打ち込みましたが、あまり上達しなくて悩む時期がありました。悩むうちに今自分は何ができるのか、どこを直したら強くなるのかを考えず稽古しているだけだと気づき、改善点を見つけ計画を立てて稽古するようになりました。すると改善点がたくさん見つかり大会までに間に合うか心配になるほどでした。その時剣道部の同級生や後輩が支えてくれ最後まで足を止めることなくやり抜くことができました。優勝することはできませんでしたが、3位に入賞することができ県代表として国体近畿ブロック大会に出場することができました。

私は剣道部の仲間のおかげで成長することができ、有意義な時間を過ごすことができました。これからもこの仲間を大切にし、この3年間で学んだことを糧に何事にも頑張っていきたいです。

憧れの Kawase Winds



河瀬高等学校3年生
高木 里乃香
(彦根市立南中学校卒)

私は中学生の時にコンクールで聴いた、河瀬高校吹奏楽部の演奏に憧れを抱き、入学を決意しました。高校での部活は、中学の頃とは違い生徒が中心となり活動していくことが多く、自分の責任の重さに少し戸惑いを感じたこともありました。仲間と演奏することの喜びや、ステージで演奏したときの感動を味わうと何度も乗り越えることができました。部長としてずっと憧れてきたKawase Windsを、今度は後輩のみなさんに憧れもらえるような部活にしたいと思い、日々部員と協力してきました。私が頑張り続けて来られたのも、いつも側にいてくれる仲間のおかげだと思います。吹奏楽部に入部して仲間の大切さを身に染みて感じることができました。この経験はこれから先の人生で絶対に支えになると断言することができます。憧れの先に、こんなにもすばらしい経験が待っているなんて思いもしませんでした。みなさんにも是非、自分のやりたいことに挑戦してほしいなと思います。

進路指導

未来を見つめ、自分自身を見つめ、そして夢の実現へ



進路指導年間指導計画

	1年	2年	3年
4月	進路志望調査 スタディサプリ到達度テスト	進路志望調査	進路講演会 進路志望調査 就職・公務員説明会 第1回就職・公務員模試 第2回就職・公務員模試
5月	進路の手引き配布	進路の手引き配布	第3回就職・公務員模試 進路の手引き配布
6月			校外学力模試 保護者進学説明会 第4回就職・公務員模試
7月	第1回校外学力テスト 保護者懇談会	第1回校外学力テスト 保護者懇談会	求人票受付 1期補習開始 ペネッセ記述模試 保護者懇談会 全統共通テスト模試
8月		保護者説明会 GTEC	
9月	進路講演会		2期補習開始 大学入学共通テスト出願説明会 就職選考開始 ハセカ駿台マーク模試
10月	進路志望調査	進路志望調査	面接総合問題ガイダンス ハセカ駿台記述模試 全統記述模試 進路志望調査 ペネッセ駿台共通テスト模試
11月	第2回校外学力テスト	第2回校外学力テスト	学校推薦型選抜 全統ブレ共通テスト
12月	保護者懇談会	保護者懇談会	3期補習開始 保護者懇談会
1月	GTEC 第3回校外学力テスト	第3回校外学力テスト	大学入学共通テスト 4期補習開始 国公立大学出願 私大等一般入試
2月		第4回校外学力テスト	国公立大前期日程試験
3月	分野別説明会 スタディサプリ到達度テスト	進路講演会 スタディサプリ到達度テスト	公立大中期日程試験 国公立大後期日程試験

面接・小論文指導を隨時実施

教室での勉強



滋賀県立大学
環境科学部 環境政策・計画学科
小川 結菜
(県立河瀬中学校卒)

受験勉強において環境というものは受験生に絶大な影響を与えます。私の受験勉強での風景のほとんどは学校の教室でした。

特に直前期には、毎日教室でクラスの仲間が黙々と勉強している中で自分も勉強し、分からぬことがあれば職員室に行き先生に質問をする日々が続きました。どんなにやる気が出ないときでも、学校に行けば自然と勉強ができる雰囲気がありました。

また悩み苦しかった時期に、朝教室の鍵を取りに行つた際に、先生に励ましの言葉をいただき思わず涙してしまったこともあります。

もちろん受験はその人個人の努力次第で結果が大きく変わりますが、「受験は団体戦」という言葉があるように、私は周りの友人や先生方に支えられて受験を乗り越えることができました。暑い日も雪の降る日も毎日学校を開放し、私たちに親身に寄り添ってくださった先生方には感謝してもしきれません。

河瀬中学校・高等学校という環境で6年間過ごし成長できたことは、今後の人生の中で私を支えてくれるものになると確信しています。

卒業生の主な合格状況(5年間)

学校名	卒業年度 令和 3年度	令和 2年度	元年度	平成 30年度	29年度
国立大学					
北海道大					1
北海道教育大旭川			1		
山形大	1	1			
筑波大		1			
東京外国语大			1		
東京藝術大			1		
お茶の水女子大			1		
横浜国立大		1	1		
富山大		1			1
信州大			1	1	1
福井大	2	1			
岐阜大			1	1	
静岡大		3			1
名古屋大	1	1	1		
名古屋工業大		2			1
愛知教育大			1		
三重大	1				1
滋賀大	7	4	4	8	6
滋賀医科大学				1	1
京都大	3	1			2
大阪大				1	1
大阪教育大		1			1
神戸大			4	1	2
岡山大		2	1	1	1
広島大	2		3		
鳥取大	1			1	
島根大	1			1	2
山口大				1	1
香川大		1			
徳島大		1			
高知大		2			
大分大			1		
鹿児島大					1
その他	4				
国立大 計	23	23	21	18	24
公立大学					
高崎経済大	1			1	
山梨県立大		1			
埼玉県立大			1		
東京都立大	1			1	
神奈川保健福祉大			1		
長岡造形大				1	
新潟県立大	1			1	
富山県立大	3				1
敦賀市立看護大				1	
福井県立大		1		1	
静岡文化芸術大				1	
愛知県立大			1		
名古屋市立大	1				
滋賀県立大	16	10	11	10	13
京都府立大	2	3			
京都市立芸術大	1		1		
福知山公立大					2
大阪公立大(大阪府立大)	1	1		1	1
公立鳥取環境大	1			1	
島根県立大				1	
尾道市立大			1		1
福山市立大			1		
広島市立大			1		1
山口県立大		1			
市立山口東京理科大		1			
愛媛医療技術大			1		
高知県立大		1		1	1
その他	1				
公立大 計	29	19	19	21	20
私立大学					
創価大			1		
津田塾大			1		
東海大			1		
東京農業大			2		3
日本大				1	1
明治大				2	
明治学院大		1			
立教大			1		
早稲田大				5	
金沢工業大		7	3	3	4
岐阜協立大	3	15	5	1	22
岐阜女子大			2	2	1
岐阜聖德学園大	1	19	2	11	1
中京大		4			1
名城大	2				4
成安造形大	4	9	3	3	2
長浜バイオ大	30	35	27	7	35
聖泉大	11	7	8	21	9
びわこ学院大	3	7	8	3	3
びわこリハビリ専門職大	3	7	7		
大谷大	25	85	9	27	12
京都外国語大	11	18	9	4	6
京都先端科学大	10	23	10	8	7
京都産業大	22	35	17	19	39
京都女子大	9	7	1	18	9
京都精華大	3	8	8	2	1
京都橘大	75	103	51	98	79
京都光華女子大	2	14	8	13	24
京都薬科大		2			1
京都文教大	4	7	9	2	5
京都華頂大	1		1	2	4
京都医療科学大	1				
京都看護大	1	3	1	6	7
同志社大	4	15	10	7	6
同志社女子大	9	10	3	2	2
花園大		5	13	2	10
佛教大		33	55	19	29
立命館大		28	56	40	17
龍谷大		125	93	30	46
追手門学院大		3	16	4	3
大阪学院大		2	5	4	
大阪経済大		1	5	4	
大阪経済法科大		4	5	1	
大阪工業大		10	1	8	1
大阪産業大		93	25	4	7
大阪体育大			1	7	2
大阪電気通信大		17	10	3	4
大阪薬科大				1	
関西大		3	6	9	5
関西外国语大		14	2	3	2
近畿大		2	14	5	3
摂南大		5	4	6	
大和大		3	7	2	
関西学院大				8	1
神戸学院大				8	
畿央大		3	7		
その他		27	26	68	89
私立大 計		612	800	436	485
文部科学省所管外					
防衛大学校			1		
文部科学省所管外 計		0	1	0	0
公立短期大学					
岐阜市立女子短期大				1	1
公立短期大 計		0	0	1	0
私立短期大学					
滋賀短大		1	7	8	5
滋賀文教短大		1	1	1	2
京都外国語短大			1	4	
龍谷大短大部		1			
関西外国语大短大部			2	1	2
その他		5	1	7	9
私立短期大 計		8	12	21	18
短期大学校					
滋賀職業能力開発短大校		3		5	1
短期大学校 計		3	0	5	1
専門学校等					
滋賀県立総合保健		4	3	2	4
滋賀県立看護		3	3	7	7
大津赤十字看護			3		5
草津看護		2	1	2	8
京都理容美容			1	1	1
京都外語				2	1
その他		13	10	14	24
専門学校等 計		22	21	28	52

進路実現に至るまで



京都府立大学
公共政策学部 公共政策学科
北村 厚人
(県立河瀬中学校卒)

受験生という自覚がないまま受験に臨みましたが、受験は想像以上に過酷で本当に苦しいものでした。周りが良い結果を出していく中、1人結果が出ず、焦り、自分を責め、受験をやめたいと思うことは何度もありました。ですが共に成長し合える友人と、支えてくれた先生方や家族のおかげで乗り越えることができました。特に家族には1番の理解者として、支えとして常に傍にいてくれて本当に感謝しています。

努力をすれば報われる程くは無い現実の中、努力し続けたからこそ得られるものがあると知れたことは今後の大きな糧となりました。辛く、苦しく、先の見えない受験生活も振り返れば人生の中で大きな意味を持つものになったと思います。この河瀬高校での経験を忘れずこれから的生活を送っていきたいです。

受験を振り返って



滋賀県立大学
人間文化学部 国際コミュニケーション学科
高橋 千晶
(彦根市立中央中学校卒)

私が第一志望校を決めたのは高校2年生の時です。受験というのは想像以上に辛く、3年生になっても模試の判定が上ががらずに志望校を変えようと思つたり、このまで進路実現できるのかという不安に涙を流したりすることもありました。でも、周りの先生、家族、一緒に勉強してきた友達からの励ましの言葉や今まで頑張ってきた自分の努力を信じて、第一志望校に合格することができました。

私は家庭の事情により塾に通つていませんでした。ですが、授業が終わつてからすぐにつかからないところを質問できる環境や、夜7時まで勉強できる環境、土日の自習室開放を利用したりなど河瀬高校の充実した進路サポートのおかげで勉強時間を確保することができました。受験を終えて本当に河瀬高校に入学してよかったです。皆さんも周りの手厚いサポートを頼つて進路実現に向けて頑張ってください。

令和4年度 学校説明会案内

第1回

令和4年8月4日（木）午前

第2回

令和4年9月17日（土）午前

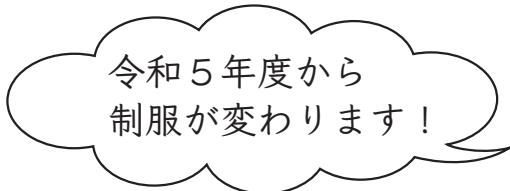
場 所：滋賀県立河瀬高等学校

内 容：本校の特色の説明、教育課程や行事の説明、部活動見学、施設・設備等の案内

※詳細については、ホームページまたは中学校から配付される文書でご確認ください。

※変更がある場合は、ホームページにてお知らせします。

※中学校を通じて、申込みをしてください。



河瀬中学校・高等学校公式キャラクター

滋賀県立河瀬高等学校

〒522-0223 滋賀県彦根市川瀬馬場町 975

TEL : 0749-25-2200

FAX : 0749-28-2935

URL : <http://www.kawase-h.shiga-ed.jp/>

河瀬駅から徒歩7分

